



シニア  
CO-OP  
わかやま

北東西南 (NEWS)

人生の完成期、輝いて生きる！

発行所 和歌山高齢者生活協同組合

住 所 和歌山市中之島782

T E L (073)432-7577

ホームページ

総代会  
特集号

組合員数 4,062名 (2017年 8月31日現在)

## 和歌山高齢者生活協同組合を 私たちの願いを実現できる組織へ

和歌山高齢者生活協同組合は、1999年に創立しました。創立以来、ヘルパー講座を開催し介護に関わる人材を養成し、県内各地で事業所の開設を進め、組合員や地域の方の介護を支援できる体制を整えてきました。また、営繕事業など高齢者が働き地域貢献に取り組む場や、旅行や登山、パソコンなど生きがいの場も広げてきました。こうした発展は、組合員の皆さんやスタッフの努力で切り拓かれてきました。

今、組合員を増やそう、和歌山高齢協を大きく強くしようと呼びかけています。

困難と思われていた和歌山市のサービス付き高齢者向け住宅と地域支え合いセンターの建設が実現しました。これには多くの組合員の皆さんのご協力がありました。和歌山高齢協が大きくなることによって私たちの願いを実現する力が増えています。昨年、待望の4000人の組合員を迎え、さらなる発展に向けて活動をすすめていくべき時です。今年度は、紀南地域の事業展開の再編を課題に掲げ、「共生型総合福祉拠点 白浜めぐもりの里」開設を目指します。和歌山高齢協のパワーは組合員の皆さんとのつながりによって強まります。

戦争への不安、生活、医療、介護、農業、教育など、私たちを取り巻く状況が詳しく知らされない中で、危機的になってきています。社会が不安定になっているときに、『ひとりみんなのために みんなはひとりのために！』と組織された協同組合が、私たちの生活を守り、平和を守るものとして活動してきたことは歴史をみても明らかです。このことは、ユネスコの無形文化遺産に「協同組合の思想と実践」が登録されたことにも示されています。さらに多くの人たちと、お互いにつながればもっと大きな場面が描けると思います。

今、私たちの願いを実現するために、多くの人と手をつなぎ助け合っていくことが求められています。私たちはその手段として和歌山高齢者生活協同組合をもっています。ぜひとも和歌山高齢者生活協同組合の仲間を増やし、県内各地で、「人生の完成期を輝いて生きる！」という私たちの願いを実現するために、力を発揮していただけるようお願いいたします。

和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中秀樹

# 第一八回通常総代会が

## 盛大に開催されました！

六月二十四日(土)に、和歌山市北コミュニティセンター(さんさんセンター)において、和歌山高齢者生活協同組合第一八回通常総代会が、実出席四六名、書面議決と併せて出席者八七名で、盛大に開催されました。

和歌山市内を中心に、橋本から新宮まで、県内全域から多くの総代さんの出席があり、全ての議案について、賛成多数で承認されました。

総代会終了後は、恒例の永年勤続表彰が行われ、営繕事業部の田村さんが代表で表彰を受けていただきました。

午後からの第二部は、例年とは違って、公開講座として、厚生労働省から石井課長補佐にお越しいただき、「地域共生社会の実現を見据えた地域包括ケアの推進について」という講演と、実際の進め方についての座談会とさせていただきます。組合員さんだけでなく、介護の事業所の方々も参加しての講演会となり、少し難しい話になってしまったかと思いますが、沢山の方が参加していただき、今後の介護保険制度の変わっていく方向性などについて学びありました。

### 今年度目指す所は

この総代会で承認された、二〇一七年度方針は、「共に手をとりあい、誰もが光り輝いて生きることのできる社会を！」をテーマに、①共生型総合福祉拠

点の整備②認知症、看取りを地域で支えていく③子ども、障害者、生活困窮者、若年性認知症の支援④ささえ愛センターは、助け合い活動のセンター拠点、以上の四つをキーワードに活動をすすめます。これらをすすめていくうえで、①「平和と人権を守る」を運動の礎に②「協同

組合の思想と実践」を誇りに、③制度改革への運動と制度変化への対応、そして「コミュニティケアの実践、を大切に考えながら進めて行きます。

具体的には、事業活動では、共生型総合福祉拠点の整備、人生が輝くコミュニティケアの推進、ケアの質の向上、共生社会実現に向けて、などをキーワードに、総事業高四億二八二三万円、経常剰余率〇・一%を目指します。また、組織活動では、共生の地域づくりに向けて、認知症の方が安心して暮らせる地域づくり、子どもの未来の応援、高齢者が輝く仕組みづくり、協同組合の思想と実践に学び、平和と人権を守るために、などをキーワードに、総組合員数四二二一名を目指します。

### 事業活動について

共生型総合福祉拠点の整備を主軸に、コミュニティケアの推進やケアの質の向上を目指します。コミュニティケアとは、「みんなで支える」ことを意味し、事業所の「お仕事」だけで支えるのではなく、介護や医療の専門職との連携や、地域住民の方々との連携の中で、利用者さんの

二四時間三六五日を支えることを目指します。

そのためにも、ケアの質の向上は不可欠で、「介護の専門職」でなければできないことや考え方を、様々な連携する人たちの中で役割発揮する必要があります。また、病床が減らされる医療制度の改定や、介護保険制度の改定の中で、重度の方でも安心して自宅での生活が送れるような質の高いケアが求められます。

### みんなでやるうー①

専門職との連携、地域の方たちとの連携、ケアの質の向上などを確実なものにするために、「学ぶ」ことが必要です。職員の中で「学ぶ文化の醸成」を目指した取り組みも進めて行きます。

このために、役員が、目標を持って、総力を挙げて、立ち向かっていくことが必要です。役員ががんばりは、組合員のみなさんに支えられて、より強いものになります。みんなで力を合わせて進めて行けるよう、ご協力お願いします。

### 組織活動でしん

組織活動に関しても、「共生」を目指した「地域づくり」を大きな柱として考えています。組合員のみなさんが住んでいる「地域」を大切に、「安心して暮らし続けられる地域」の実現に向け、みんなで力を合わせた取り組みをすすめていきます。

日常的な小さな困り事から、みんなの心配事になってきている認知症について、などなど、安心して暮らし続けるためには、「お互いさま」で助け合える地域づくりが必要と考えています。この「助け合いの地域づくり」は、地域のみなが、顔と名前がわかり、気軽に挨拶を交わし合える関係を持つことが大切です。

それから、私たち生活協同組合の、本



来求められるところは何か、「協同組合の思想と実践」が、世界文化遺産に登録されたことを受け、今一度、組合員のみなさんと考え、話し合う場も作りたいと考えています。

平和と人権を守ることも、組合員のみなさんと話し合いながら行動していくべき課題です。

### みんなでやるうー②

地域のみなで、顔と名前がわかる関係作りに向けて、高齢協として、地域の組合員さんとの交流・懇談の場の設定が必要と考えています。

社会の動きの中で、今こそ、生活協同組合についての本質的な意見交換も含め、皆さんとの交流をすすめていくべき時と考えます。

組合員のみなさんの率直な声を聞かせていただく機会を作りたいと考えています。皆さんのご協力をお願いします。

具体的な提起は、生協強化月間方針や、今後の通信や様々な案内でお知らせしていきますので、よろしくお願いします。



## 生協強化月間を機会に

仲間をふやそう！

先日、の総代会で決められた方針に従い、生協の様々な活動を、強めていくのが「生協強化月間」(10月～11月)です。今年度のテーマは、「共に手をとりあい、誰もが光り輝いて生きる」ことのできる社会を！となっており、この強化月間でも、「共に手をとりあい」「輝いて生きる」ために何ができるかを考えて、いろんな活動を考え、実行していきましよう。

## 生協強化月間方針

この強化月間の方針として、事業活動に関しては、役職員の「学び」「スキルアップ」に基づき、ケアが必要になっても「輝いて生きる」ことができるような介護サービスの実現を目指すことが大きな柱となります。「共生型総合福祉拠点 白浜ぬくもりの里」開設に向けた取り組みも、この中で大きな取り組みとなります。また、組合員活動に関しては、「共に手

をとり」あつためにも、役職員と組合員、みんなのつながりを強め、広げていく取り組みが必要で、「共感」に基づく仲間づくりや、信頼関係構築に向けた取り組み等、各地域での具体化が必要になっていきます。

## 事業所を中心に

事業所の役職員を中心に、「目標」を持った仕事に取組み、必要な「学び」を主体的に進めて行ける職員組織の構築＝「学び」を文化に＝をすすめます。並行して、学んだ事を実践につなげる施策もすすめます。具体化は各事業所の状況に応じて検討をすすめますが、単に「学び」だけではなく、日常の業務に反映させ、組合員さん(利用者さん)が「輝いて生きる」お手伝いをすることが求められます。そのためにも、役職員のみならず、「学び」「スキルアップ」を目指す「組合員さん(利用者さん)のお役にたてる」仕事を目指しましょう！

また、事業展開という視点では、「共

生協総合福祉拠点 白浜ぬくもりの里」開設が大きな力となります。新しい事業所の開設に向けた資金運動や、職員組織の確立、利用者さんの確保など、堅実にすすめる、「地域づくり」に貢献できる事業所開設を目指します。

役職員、組合員のみならず、資金活動へのご協力をお願いします！また、役員のみならず、事業経営の確立に向けて、最善を尽くしましょう！

## 組合員のみなさんを中心に

地域の中で、「共に手をとり」「輝いて生きる」ことができる「助け合いの地域づくり」をすすめます！

生協は、人と人とのつながりが基本の組織です。組合員さんご自身はもちろんです。地域の中でも、顔と名前が一致する関係作りから、「お互いさま」で「助け合える地域」を目指しましょう！

そのためにも、生協というくくりだけではなく、地域のみならず、気軽に話し合える場「サロン」や「居場所」づくりをすすめます！

ただ単に「集う場」だけではなく、同

じ趣味や同じ目的を持った「集まり」も、「居場所」になります。地域の困りごとを解決する「集まり」ができれば、一石二鳥、そこで、お小遣いが稼げたら、一石三鳥です。世間で言われる「介護予防」も、出来てしまえるし、一石四鳥も可能ですよ。

ここまで行くには、まず、みんなで集い、話し合う場を作りましょう。生協として、組合員懇談会、座談会などを計画したいと考えています。

組合員のみなさん、地域の困り事や、将来の夢など、大いに語り合いませんか？みんなで集いましょう！

介護保険を取り巻く情勢も、平和を取り巻く情勢も、厳しさを増してきています。みんなで学び、考え、行動することも大切です。

みんなで学び、学んだ事を周囲に知らせ、みんなで考え、行動する生協を、みんなの力で作りましょう！

**ユネスコ無形文化遺産に  
登録されました**

協同組合の「思想と実践」が、ユネスコ

「無形文化遺産に登録されました。人と人とのつながりをもとに、みんなの力を合わせることで、目的が達成される。そのことが、継続して事業として成り立ち、地域を作りあげていることが評価されました。生活協同組合として活動する私たちも、みんなの力を結集し、目的を達成するため、がんばりましょう！

「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」を実践することで、一歩でも目標に近づけることができます。

みんなで集い、各々の想いをぶつけあ



い、目指す方向を議論し、何をするかを決める。このことを大事に、様々な活動を前進させましょう！

**行動提起**

**組合員のみなさん**

この生協強化月間の間に、懇談会や座談会を企画・運営・参加し、みんなで、「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」を考え・話し合いしましょう！

**役職員のみなさん**

この生協強化月間の間に、生協職員として・介護職員として成長し、組合員さんと一緒に、「協力共同」について話し合い、活動しましょう！

**組合員・役職員のみなさん**

この生協強化月間の間に、「共生型総合福祉拠点めぐもりの里」開設に向けた資金活動に、ご協力をお願いします。

**共生型総合福祉拠点  
ぬくもりの里を成功させよう！**

介護保険制度改定の方角性を鑑み、今後の事業展開を議論する中で、紀南地域の事業所について、将来構想も検討しながら、現状の事業所の移転、統合をすめます。



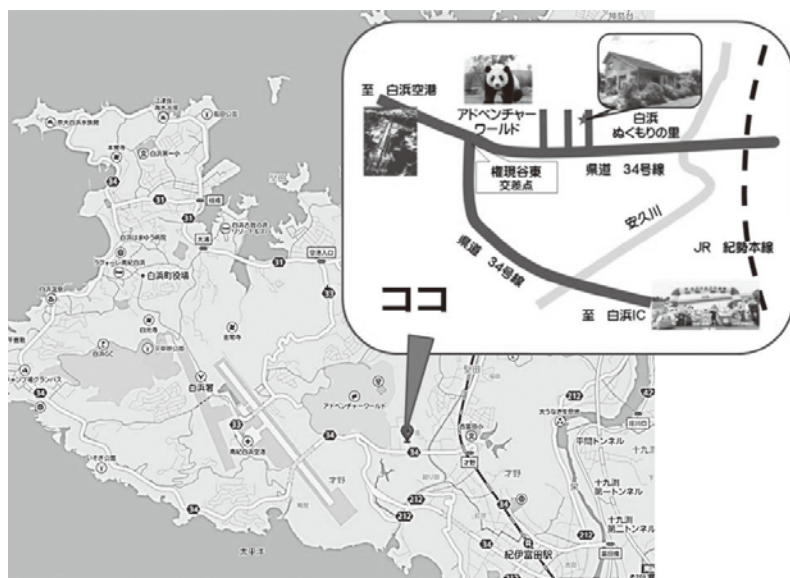
将来構  
想として  
は、利用  
者さんの  
二四時間  
三六五日  
を支えき  
れるサー  
ビス提供  
を目指し  
たいと、  
小規模多  
機能型や  
認知症対  
応グルー  
プホーム、  
サービス  
付き高齢

者向け住宅など、様々な事業を検討しています。あわせて、地域の中での「助け合い」の拠点としての機能や、障害者や子ども、若者も、生活に困難を抱えている人たちが安心して暮らし続けられる地域づくりの拠点としても役割を発揮できるようにしていきたいと考えています。

今回の移転・統合は、その第一歩です。具体的には、白浜ぬくもりの家(デイサービス)、田辺上秋津の里(デイサービス)、の二つの統合とあわせて、田辺ケアプラセンターを、白浜町才野地区に移転します。

この新しい拠点については、単に、デイサービスとケアプラセンターの併設事業所とするのではなく、「ささえ愛センター」を併設し、「共生型総合福祉拠点」として位置付け、地域の助け合いの拠点としての役割も持たせたいと考えています。

地域のみなさんに受け入れていただくだけでなく、いっしょに活動をすすめていける様、高齢協としての地域づくりへの考え方や、「お互いさま」の「助け合い」についての想いを伝え、広げていけるような取組みも進めて行きたいと考えています。



新たな事業所の開設に向けては、地域住民のみなさんのご理解・ご協力をいただかないと成功にはつながりません。また、地域の事業所の中でも受け入れていただける関係が無ければ事業の成功はありません。各方面へのご挨拶やご説明に伺いながら、ご理解・ご協力をいただくように進めて行きたいと考えています。



「ご協力をお願いしますー！」

白浜の地で民家を改修し、トイレも一つ、部屋も決して広くなく使いづらさもありますが、そこは私たちの腕の見せ所です。一年間ぬくもりのご利用者様に寄り添ってまいりました。

山あり、谷あり、涙あり、そして笑いあり、笑いあり、笑いありー実は笑ってばかりです。朝、ご利用者様がぬくもりに入ってきてくれるとき、「ただいまあー」と入ってきてくれます。ソファに座るなり、「やれやれ、ほつとするわあ」の一言から一日が始まります。

お昼ごはんも同じ空間で作っているため、すごくいい匂いがお部屋中に充滿してまいります。そこで、今日は何かなあ、ゲーム感覚で皆さん当て合いしながら、当たった人はごはんの大盛りをもらいます。とても食事がおいしいと評判です。

そんなぬくもりですと続けていければよかったです。私たちも変わらなくなっていくのではない時期が来ました。三年ごとの介護保険の改定、二〇一八年度は医療・介護の同時改定になり、今まで重宝されていた、ぬくもりの家や上秋津の里のよゆうな小規模デイに大きなしわ寄せがやってくると思います。



それでも私たちは、ご利用者様を守っていかねばいけない、守っていき

たいという思いで、新しい拠点づくりに取り掛かりました。ぬくもりの家、上秋津の里、田辺ケアプランセ

ンターが統合移転し、資源を結集させ、和歌山市山口地域での実践をモデルに、ささえ愛センターを開設し、地域に必要とされる、誰もが安心して暮らせる地域づくり、「共生型総合福祉拠点」白浜ぬくもりの里を開設する予定です。

ただ、二六五日の通常デイに変わるとしても、なかなかそれだけでは、地域で、自宅で安心して生活できるわけではありません。身体機能、認知症の重度化が進んだとき、じゃあどうするかと考えた時、住み慣れた地域に、知った顔の人、見たことのある人の顔があれば、少しは安心だと思えます。そこに、グループホームや小規模多機能型居宅介護、住宅といったことを考えていければいいなあ。

しかし、□マンだけでは、利用者様やスタッフを守っていくことはできません。そのために、第七期の事業計画に考えていただけるように、白浜町への働きかけを行っている最中です。がんばっていききたいと思えます！

ところで、先日、ぬくもりの家に、お母さん



が通えるデイサービスを探しておられる親子の方が見学に来てくださいました。中に入ってくるなり、「いいところやねえ」と喜んでお帰りになりました。私たちも、良い返事がもらえる様、待ちわびていたところ、とりあえず週一回からお願いますと言ってきたくださり、その後、私も契約に行かせてもらいました。娘様もお母さんも、「なんか、あそこいいたら、気い使わずすんでいいわ」と、喜んでくれて、その中で、娘様がもうひとつ良かったところを挙げてくれました。それが、なんと、「お金の臭いがしない」と言われ、私もびっくりしました。見学に来られた時も、そういう風な形で見られる方もいらっしゃるんだなあと思って、もっけ主義ではない事業所だという事を認めてもらえたんだなと思いました。

それで、私、経営はとても大事なことで、□マンとそろばん、という言葉聞いたとき、上手にそれをできたら良いなと思いました。そこで今日、ここにお集まりのみなさんにお願いがあります。共に支えあい、光り輝いて暮らし続けられる地域づくりを目指したいので、お金の臭いがしない紀南事業所へ、ごつぞお金をお貸しください。よろしくお願います。みなさんと盛り上げていきたいと思えます。ありがとございました。

(第一八回通常総代会 畠山所長報告)

**にじいろ カフェ**

2017年 10月23日(月)  
13:00-16:00

●場所 やまぐち ささえ愛センター

●プログラム  
・お医者さんのお話し  
・お楽しみ交流企画  
・カフェタイム

●参加費 500円 (ドリンク・お菓子付)

申込み(10月13日〆切)・問い合わせ  
にじいろカフェ実行委員会  
TEL 073-464-2468(総務部助産センター101号)

にじいろカフェ  
ささえ愛子ども食堂  
やっています!

も進めていきますので、ぜひ、ご参加ください。  
子ども食堂も継続してまいります、お近くにお住いの方、お気軽に参加、ご協力をお願いいたします。

おなじみ、やまぐちささえ愛センターで、一周年を迎える「にじいろカフェ(認知症カフェ)」、専門職や認知症の方とそ  
の家族が、自然体で集い、居合わせる場として定着してきています。  
認知症になっても安心して暮らしていけるためにも、「助け合いの地域づくり」をすすめるよう、話し合いを進めていきます。

ヘルスアップチャレンジ2017  
の1号案内

和歌山県生協連合会の仲間である、和歌山中央医療生協さんが、良い企画を、県生協連のみんなに広げたり取り組みとして進めてくれています。組合員のみならず、ぜひ、ご参加ください。  
概要は、10月、11月の二か月間、「気軽にできる健康づくり」を進めましょうというもので、食生活改善コースでは、毎日、野菜たっぷりの食事をとりましようという事で、できたかどうかをカレンダーにチェックして提出するだけです。  
コースは、食生活改善の他、気軽に運動、きっぱり禁煙・お酒ほどほど、お口さわやかすっきり、脳いきいき、私の健康法の六つのコースから選べ、その中でも、ちよつと努力でできることばかりです。お気軽にご参加ください。無料で、表彰や記念品もあります。  
詳細は、事務局までお問い合わせください。



**シニアCO-OPわかやまの主な事業所・活動**

- ◆本部事務局 ☎073-432-7577
- ◆介護・福祉 ケアセンターおたっしや倶楽部 ☎073-455-7979
- わかやま訪問介護事業所 ☎073-427-8200
- 〃 サテライト ☎073-424-5295
- 和歌山ケアプランセンター ☎073-462-1055
- やまぐち おたっしや館 ☎073-462-5558
- れくらん ☎073-461-6756
- ワークショップてとて ☎0736-77-6511
- 那賀事業所 ☎0736-77-6511
- 那賀相談支援事業所 ☎0736-77-6511
- ◆健康・生きがい事業部
- JIAS PC (パソコン)/和歌山営繕事業部・女性部「結い」/海南営繕事業部/海南第二営繕事業部/御坊営繕事業部・女性部「ねこの手」/伊都・橋本営繕事業部/田辺暮らし・安心・お助け隊/ハイキング友の会/ほっとけやん倶楽部/送迎事業部/市民農園/どこ竹@わかやま/旅行倶楽部/葬送事業部/いっぴく亭~紀和庵~/御坊おたっしやタイム/お墓参り代行 心香
- ◆田辺支部 ◆新宮支部
- ◆やまぐちささえ愛センター ☎073-462-0023
- 伊都・橋本事業所 ☎0736-43-1546
- 伊都・橋本ケアプランセンター ☎0736-44-2330
- 御坊・日高事業所 ☎0738-23-0396
- 田辺事業所
- かみとんだ おたっしや館 ☎0739-47-0866
- 田辺ケアプランセンター ☎0739-33-7022
- 田辺第二事業所(上秋津の里) ☎0739-35-8181
- 白浜事業所(ぬくもりの家) ☎0739-43-7788